

第 10 回日本血栓止血学会学術標準化委員会 (SSC) シンポジウム SSC Symposium 2016

日 程	2016 年 2 月 20 日 (土) 9 : 30 ~ 18 : 50 ※ 9 : 00 より受付を開始いたします。
会 場	野村コンファレンスプラザ日本橋 (東京都中央区日本橋室町 2-4-3 日本橋室町野村ビル (YUITO) 6F 東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅 A9 出口直結 徒歩 1 分) http://www.nomura-nihonbashi.com/conference/
世話人	宮田茂樹 (国立循環器病研究センター 輸血管理室)
参加費	会 員 3,000 円 非会員 4,000 円 学 生 2,000 円 (学生証を提示) ※ 参加費は抄録代を含む

プログラム

学術標準化委員会シンポジウム

午前の部 (10 : 30 ~ 13 : 00)

1. 血栓性素因部会・静脈血栓症/肺塞栓症部会 (共同開催)

テーマ「難治性疾患としての特発性血栓症 (先天性血栓性素因による)」

座長：池田正孝 (大阪医療センター外科)

小嶋哲人 (名古屋大学大学院医学系研究科)

1. 震災後の DVT と血栓性素因との関連について
榛沢和彦 (新潟大学大学院呼吸循環外科)
2. 当院における DVT 症例と血栓性素因検査の現状と問題点
山本尚人 (浜松医科大学第二外科)
3. 先天性血栓性素因保有者の静脈血栓塞栓症のマネジメント
中村真潮 (三重大学大学院循環器・腎臓内科学, 村瀬病院肺塞栓症・静脈血栓センター)
4. 新生児と小児に発症する特発性血栓症
大賀正一 (山口大学大学院医学系研究科小児科学分野)
5. 「特発性血栓症 (先天性血栓性素因による)」の「指定難病」認定に向けての取り組み
森下英理子 (金沢大学大学院医薬保健学総合研究科病態検査学)

(2)

2. 凝固線溶検査部会

テーマ「DOAC に対する凝固検査 UP-TO-DATE」

座長：北島 勲(富山大学医学薬学研究部臨床分子病態検査学)

橋口照人(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科先進治療科学)

森下英理子(金沢大学大学院医薬保健学総合研究科病態検査学)

1. 添加血漿を用いた DOACs の凝固系検査への影響に関する検討

藤森祐多¹⁾, 大平賢太郎¹⁾, 片桐尚子¹⁾, 清水長子¹⁾, 三ツ橋雄之²⁾, 涌井昌俊²⁾, 村田 満²⁾

(¹⁾慶應義塾大学病院中央臨床検査部, ²⁾慶應義塾大学医学部臨床検査医学)

2. ダビガトラン新規導入患者の凝固線溶血小板検査

伊藤隆史^{1,2)}, 永里朋香^{2,3)}, 中島隆宏⁴⁾, 脇田政之⁵⁾, 松岡秀樹⁵⁾, 細川和也³⁾, 橋口照人⁶⁾,
丸山征郎²⁾

(¹⁾鹿児島大学病院救命救急センター, ²⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 システム血栓制御
御学, ³⁾藤森工業株式会社, ⁴⁾今村病院分院, ⁵⁾鹿児島医療センター脳血管内科, ⁶⁾鹿児島大学大学
院医歯学総合研究科血管代謝病態解析学)

3. 3種の経口 Xa 阻害薬モニタリングの比較

松野一彦¹⁾, 増田裕弥¹⁾, 畑瀬正尚¹⁾, 宇佐美貴之¹⁾, 渋谷齊¹⁾, 佐久間一郎²⁾, 遠見真理³⁾,
清水 力¹⁾

(¹⁾北海道大学病院検査・輸血部, ²⁾北光記念クリニック, ³⁾協和メテックス)

4. エドキサバンの PT, APTT, TGA に対する影響

川杉和夫, 山本 義(帝京大学医学部内科学)

5. リバーロキサバンが血中アンチトロンビン, プロテイン C, プロテイン S 活性値に与える影響お よび試薬間比較

關谷暁子¹⁾, 三澤絵梨²⁾, 鈴木健史²⁾, 末武 司²⁾, 津田友秀³⁾, 金 秀日³⁾, 古荘浩司¹⁾,
林 研至⁴⁾, 朝倉英策⁵⁾, 森下英理子¹⁾

(¹⁾金沢大学医薬保健研究域保健学系病態検査学, ²⁾シスメックス株式会社, ³⁾株式会社シノテス
ト研究開発部, ⁴⁾金沢大学医薬保健研究域医学系臓器機能制御学循環器内科, ⁵⁾金沢大学附属病
院血液内科)

6. 直接経口抗凝固薬服用下のプロトロンビン時間, 活性化部分トロンボプラスチン時間の試薬間お よび施設間比較

山崎昌子¹⁾, 北島 勲²⁾, 矢坂正弘³⁾, 長尾毅彦⁴⁾, 志賀 剛⁵⁾, 北川一夫¹⁾

(¹⁾東京女子医科大学医学部神経内科学, ²⁾富山大学大学院医学薬学研究部臨床分子病態検査
学, ³⁾九州医療センター脳血管・神経内科, ⁴⁾日本医科大学多摩永山病院脳神経内科, ⁵⁾東京
女子医科大学医学部循環器内科学)

7. DOAC に対する血液凝固検査の使い方(オーバービュー)
北島 勲(富山大学医学薬学研究部臨床分子病態検査)

3. 血友病部会

テーマ「血友病保因者のケアを考える」

第1部 血友病保因者ケアの基礎的事項

座長：天野景裕(東京医科大学臨床検査医学分野)

1-1 血友病保因者診断の検査の意義

—検査を実施するか受けるかの選択と検査の時期について考える—

篠澤圭子(東京医科大学血液凝固異常症遺伝子研究寄附講座)

1-2 保因者健診の概念と普及

西田恭治(大阪医療センター感染症科)

1-3 保因者の心理的支援のポイント

小島賢一(荻窪病院血液科)

第2部 血友病 周産期管理指針 2015年(案)について

座長：瀧 正志(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科)

2-1 産科医の立場から

朝比奈俊彦(浜松医科大学産婦人科)

2-2 小児科医の立場から

野上恵嗣(奈良県立医科大学小児科)

第3部 パネルディスカッション

座長：嶋 緑倫(奈良県立医科大学小児科)

パネリスト：天野景裕(東京医科大学臨床検査医学分野)

篠澤圭子(東京医科大学血液凝固異常症遺伝子研究寄附講座)

西田恭治(大阪医療センター)

小島賢一(荻窪病院)

瀧 正志(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院)

朝比奈俊彦(浜松医科大学産婦人科)

野上恵嗣(奈良県立医科大学小児科)

松尾陽子(久留米大学小児科)

(4)

4. VWD/TTP 部会 (11:45~13:00)

テーマ「VWD/TTP の話題」

I.VWD

座長：日笠 聡 (兵庫医科大学血液内科)

I-1. 血流下血栓形成測定装置による von Willebrand 病の機能的診断と治療モニタリング
—奈良医大の経験から

野上恵嗣 (奈良県立医科大学小児科)

I-2. 遺伝子検査における von Willebrand 病 (VWD) の分類

松下 正 (名古屋大学医学部附属病院輸血部)

I-3. エクソーム解析による von Willebrand 病の遺伝子解析の試み

三田直美 (名古屋大学医学部附属病院医療技術部臨床検査部門)

II.TTP

座長：和田英夫 (三重大学大学院医学系研究科臨床検査医学)

II-1. 先天性 TTP/USS 遺伝子解析の現状

小亀浩市 (国立循環器病研究センター分子病態部)

II-2. TTP 治療ガイドライン作成状況

松本雅則 (奈良県立医科大学輸血部)

午後の部(14:10~16:40)

5. DIC 部会

テーマ「DIC の臨床：治療をどう行っていくべきか？」

座長：関 義信 (新潟大学医歯学総合病院魚沼地域医療教育センター・魚沼基幹病院血液内科)

朝倉英策 (金沢大学附属病院高密度無菌治療部)

1. 新生児 DIC 診断・治療指針

白幡 聡 (北九州八幡東病院)

2. 超微形態でみる血管内皮障害

～遺伝子組換えトロンボモジュリンの抗炎症作用～

岡田英志¹⁾, 竹村元三²⁾, 鈴木浩大¹⁾, 高田ちひろ¹⁾, 小田和正¹⁾, 池庄司遥¹⁾, 田中 卓¹⁾,
中野志保¹⁾, 吉田隆浩¹⁾, 吉田省造¹⁾, 牛越博昭¹⁾, 豊田 泉¹⁾, David Mann³⁾, 小松正信⁴⁾,
小倉真治¹⁾

(¹⁾岐阜大学大学院医学研究科救急災害医学分野, ²⁾朝日大学歯学部総合医科学講座内科学分野,

³⁾Vascular BioSciences, CA, USA, ⁴⁾Sanford-Burnham Medical Research Institute at Lake Nona, FL, USA)

3. 全血凝固能検査で解析した遺伝子組み換えトロンボモジュリン製剤の抗凝固作用について

小網博之, 阪本雄一郎 (佐賀大学医学部附属病院高度救命救急センター)

4. 敗血症性 DIC 患者における血中ヒストンの動態

川杉和夫¹⁾, 山本 義¹⁾, 斎藤紀子¹⁾, 山田晋吾²⁾, 伊藤隆史³⁾, 丸山征郎³⁾

(¹⁾帝京大学医学部内科学, ²⁾シノテスト, ³⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科システム血栓制御学)

座長：内山俊正(高崎総合医療センター臨床検査科)
川杉和夫(帝京大学医学部内科)

5. DIC を伴った尿路感染症患者に対する AT および rTM 投与の効果：DPC データを用いた検討
大坪広樹¹⁾，村松圭司²⁾，金澤綾子¹⁾，岡田祥明¹⁾，米良好正¹⁾，岩瀧麻衣¹⁾，弓指恵一¹⁾，
高間辰雄¹⁾，久保達彦²⁾，古屋智規¹⁾，松田晋哉²⁾，真弓俊彦¹⁾
(¹⁾産業医科大学救急医学，²⁾同 公衆衛生学)
6. 非ホジキンリンパ腫における DIC の実情—単施設疫学研究—
池 成基，池添隆之(高知大学血液・呼吸器内科)
7. 慢性 DIC に対する治療法について
門平靖子，松浦絵里香，林 朋恵，森下英理子，朝倉英策
(金沢大学附属病院血液内科)
8. 線溶異常から考え直す DIC 治療
内場光浩(熊本大学医学部附属病院輸血・細胞治療部)

6. HIT 部会

テーマ「HIT の最適診断法と HIT 既往患者への対応について考える」

座長：宮田茂樹(国立循環器病研究センター輸血管理室)

大谷美穂(札幌医科大学解剖学第二講座)

第一部：HIT 最適診断法の確立

1.1 HIT 抗体による血小板活性化の基礎と臨床

演者：矢富 裕(東京大学大学院医学系研究科臨床病態検査医学)

1.2 免疫測定法の特長について考える

演者：和中敬子(東京大学医学部附属病院検査部・血栓止血研究プロジェクト)

1.3 HIT 抗体と血小板活性化の多様性—より正確な functional assay を目指して

演者：前田琢磨(国立循環器病研究センター輸血管理室)

総合討論：

第二部：HIT 既往患者へのヘパリン投与の是非

2.1 血液透析時のヘパリン再投与に functional assay が重要であったヘパリン起因性血小板減少症の 1 症例

演者：乾 恵美(医療法人北辰会有澤総合病院腎臓内科)

2.2 HIT 疑いの開心術症例に対するアルガトロバンを用いた人工心肺使用の経験と考察

演者：加藤倫子(順天堂大学医学部附属病院ハートセンター・心臓血管外科)

2.3 HIT 既往患者に対する最適治療戦略の確立にむけて

演者：宮田茂樹(国立循環器病研究センター輸血管理室)

総合討論：

(6)

7. 抗リン脂質抗体部会

テーマ「測定方法の標準化から診断方法の標準化へ 2nd Stage」

第1部 標準化に関する検討

座長：保田晋助(北海道大学大学院医学研究科)

1.1. ELISA 部門

日本における抗リン脂質抗体 ELISA の標準化に向けて—第2報—

本木由香里, 原 和冴, 野島順三

(山口大学大学院医学系研究科保健学専攻生体情報検査学領域)

1.2. LA 部門

dRVVT の標準化～抗 PS/PT マウスモノクローナル抗体(231D)活用の可能性を中心に～

井上まどか¹⁾, 静 怜子¹⁾, 山崎 哲²⁾, 内藤澄悦³⁾, 家子正裕⁴⁾

(¹⁾群馬大学医学部附属病院検査部, ²⁾聖マリアンナ医科大学病院臨床検査部, ³⁾北海道医療大学病院臨床検査部, ⁴⁾北海道医療大学歯学部内科学分野)

座長：森下英理子(金沢大学大学院医学研究科)

1.3. APS(診断・治療)部門

抗リン脂質抗体症候群の診断：抗リン脂質抗体スコアを中心に

奥 健志, オルガ・アメングアル, 中村浩之, 久田 諒, 加藤 将, 坊垣暁之, 堀田哲也,
保田晋助, 渥美達也

(北海道大学大学院医学研究科免疫代謝内科学分野)

1.4. APS(診断・治療)部門

抗リン脂質抗体陽性全身性エリテマトーデス患者に対する HMG-CoA 還元酵素阻害薬の血栓症抑制効果とその機序の解明

渡邊俊之^{1,2)}, 奥 健志¹⁾, アメングアル・オルガ¹⁾, 久田 諒¹⁾, 大村一将¹⁾, 中川育磨¹⁾,
志田玄貴¹⁾, 清水裕香¹⁾, 加藤 将¹⁾, 坊垣暁之¹⁾, 堀田哲也¹⁾, 保田晋助¹⁾, 石津明洋³⁾,
荒瀬 尚⁴⁾, 渥美達也¹⁾

(¹⁾北海道大学大学院医学研究科免疫・代謝内科学分野, ²⁾北海道厚生連帯広厚生病院第3内科,
³⁾北海道大学大学院保健科学研究院保健科学部門病態解析学分野, ⁴⁾大阪大学免疫学フロンティア研究センター免疫化学研究室)

第2部 パネルディスカッション：測定方法の標準化への提言

座長：渥美達也(北海道大学大学院医学研究科)

家子正裕(北海道医療大学)

パネラー：野島順三(山口大学大学院医学系研究科)

山崎 哲(聖マリアンナ医科大学病院)

2.1. イントロダクション

2.2. ELISA-aPL の標準化について

討論

2.3. LA の標準化について

討論

8. 凝固系／抗凝固療法部会

I. テーマ「凝固に関連した最近の話題」

座長：和田英夫(三重大学大学院医学系研究科臨床検査医学)

I-1. NOAC に対する中和薬の開発

川杉和夫(帝京大学医学部内科学)

I-2. 厚労省指定難病 288 自己免疫性出血病 XIII/13 の診断基準

一瀬白帝(山形大学医学部分子病態学講座, 厚労省研究班, 日本血栓止血学会診断基準作成委員会)

II. テーマ「抗凝固療法の実際」

座長：一瀬白帝(山形大学医学部分子病態学)

山田典一(三重大学大学院循環器・腎臓内科学)

II-1. 高齢者における抗凝固療法 ―その必要性和難しさについて―

家子正裕¹⁾, 内藤澄悦²⁾, 吉田美香²⁾, 高橋伸彦¹⁾¹⁾北海道医療大学歯学部内科学分野, ²⁾北海道医療大学病院臨床検査部

II-2. ワルファリンを見直す

上塚芳郎(東京女子医科大学循環器内科)

II-3. ヘパリンの在宅自己注射

朝倉英策(金沢大学附属病院高密度無菌治療部)

II-4. VTE に対する NOAC の使い方

山田典一(三重大学大学院循環器・腎臓内科学)

モーニングセミナー(9:30～10:20)

1. 「半減期延長型血液凝固因子製剤とスタンダード血液凝固因子製剤について」

座長：瀧 正志(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科)

演者：花房秀次(荻窪病院血液内科)

共催：バクスアルタ株式会社

2. 「血液凝固・線溶検査における外部精度管理調査の現状と課題」

座長：北島 勲(富山大学医学部臨床分子病態検査学講座)

演者：福武勝幸(東京医科大学医学部医学科臨床検査医学分野)

共催：積水メディカル株式会社

(8)

ランチオンセミナー(13:10～14:00)

1. 「抗原の性状と抗体産生」

座長：松下 正(名古屋大学医学部附属病院輸血部・検査部)

演者：鏑田武志(東京医科歯科大学難治疾患研究所免疫疾患分野)

共催：CSL ベーリング株式会社

2. 「出血と血栓の狭間で ... ～特殊病態を合併した血友病 A の診療経験からの考察～」

座長：日笠 聡(兵庫医科大学病院血液内科)

演者：家子正裕(北海道医療大学歯学部内科学)

共催：バイエル薬品株式会社

3. 「敗血症診断マーカーとしてのプレセプシンの位置づけ」

座長：三浦政直(刈谷豊田総合病院、救命救急センター、救急・集中治療部)

演者：遠藤重厚(岩手医科大学医学部救急医学)

共催：株式会社 LSI メディエンス

4. 「中等症・軽症血友病の最近の話題」

座長：藤井輝久(広島大学病院輸血部)

Part1

「包括的凝固検査を用いての Phenotype と Coagulotype」

演者：矢田弘史(奈良県立医科大学小児科・地域医療学)

Part2

「インヒビター発生における最近の知見」

演者：野上恵嗣(奈良県立医科大学小児科)

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

イブニングセミナー

16:50～18:50

1. 「トロンボモジュリン、臨床現場から新たにみえてきたこと」

座長：和田英夫(三重大学医学部臨床検査医学)

岡本好司(北九州市立八幡病院消化器・肝臓病センター)

1. 『腎障害を伴う DIC 患者における組換え型可溶性トロンボモジュリンの薬物動態』

演者：早川峰司(北海道大学病院先進急性期医療センター)

2. 『敗血症性 DIC に腎障害を合併した症例に対する rTM の使用経験』

演者：鈴木 泰(岩手医科大学医学部救急医学)

3. 『CHDF 施行中の敗血症性 DIC 患者における遺伝子組換えトロンボモデュリンの薬物動態』

演者：渡邊栄三(千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学)

共催：旭化成ファーマ株式会社

16:50～17:40

2. 「半減期 19 時間のひみつと意味」

座長：天野景裕(東京医科大学臨床検査医学分野)

演者：長尾 梓(荻窪病院血液科)

共催：バイオジェン・ジャパン株式会社

16：50～17：50

3. 「血小板凝集能測定の標準化／自動化に向けた取り組み」
座長：尾崎由基男(笛吹中央病院)
演者：佐藤金夫(山梨大学医学部附属病院検査部)
金子 誠(山梨大学医学部附属病院輸血細胞治療部)
共催：シスメックス株式会社

17：50～18：40

4. 「血友病診療における関節エコーの有用性と展望」
座長：竹谷英之(東京大学医科学研究所附属病院関節外科)
演者：稲垣有佐(奈良県立医科大学整形外科)
徳川多津子(兵庫医科大学血液内科)
共催：ファイザー株式会社